

講義名	対)専門基礎演習(人)			
担当教員	藤原 喜美子			
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 1時限	授業形態	演習	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考

<b>主題と概要</b> 2年生前期に開講される「専門基礎演習」では、専門的な学修を進めるうえで必要となる基礎的な学修の方法を学びます。そのため、「文献を読む」、「情報を集め整理する」、「クラスの仲間のお話を聞き議論する」、「レポートの発表(プレゼンテーション)を行う」など、回ごとに具体的なテーマに基づいて授業を実施します。 この「専門基礎演習」では、日本の日常生活の中から「地域の特色や魅力」を考えます。日本の住居、衣服、食事、年中行事、祭りなど、私達の生活には地域や家で受け継がれてきた伝統や習慣があります。そのような「日本の歴史や文化」を題材に、地域の特色や魅力を探します。そこで、兵庫県を中心に近畿地方の事例を取り上げ、地域の情報を収集・整理し、得られた特色を考察し、地域の魅力を皆で話し合いたいと思います。
---

<b>到達目標</b> 演習のテーマにもとづいて、ディスカッション、グループワークなどの協働作業を行うことができるようになる。また、本や新聞記事による文章の読解、レポートの作成、発表(プレゼンテーション)などの力を身につけ、自分の考えを相手に伝えることができるようになる。
<b>提出課題</b> 毎回の授業内容に関わる感想文や小レポート、各自がまとめた学期末レポート(A4用紙・2枚程度)を提出してもらいます。

<b>課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック</b> 毎回の授業に書いてもらう感想文の内容は、提出後に次の回の授業などで、観光に関わる事例として紹介します。
---

<b>評価の基準</b> 出席状況、提出課題、学期末レポートの発表、授業への取り組みの姿勢などをもとに評価します。
--

<b>履修にあたっての注意・助言他</b> この科目は、少人数で開催します。仲間が協力しあって学ぶことになりまから、クラスの仲間のために出席するという心構えが大切です。出欠管理は厳しくなると承知してください。なお、演習の授業のため、グループワークを実施させていただきたいと思っています。受講生の皆さんと教室でお会いできますと大変有り難く思います。 地域の魅力を学ぶためには、フィールドワークは大事です。授業の時間帯とは別に、神戸市内の現地見学を1回(午前のみ)、実施させていただきたいと思っています。実施の日については、感染症の状況を見ながら判断させていただきます。詳細は、前回の授業の時に連絡します。 見学時の交通費や入館料は、個人負担となりますので、ご了承ください。見学先は、授業の時間柄に、皆で相談して決めます。
--

<b>教科書</b> .使用しない。					

<b>プリント資料及び参考文献</b> <プリント資料> 各時間、プリント資料を配布します。 プリント資料は無くならないように保存してください。 <参考文献> 講義中に適宜紹介します。
---

<b>授業計画</b> 授業の進め方や評価方法の詳細は、前期の第1回目の授業で説明します。 1回 オリエンテーション 2回 地域の魅力を探す 兵庫 3回 地域の魅力を探す 兵庫 4回 地域の魅力を探す 奈良 5回 地域の魅力を探す 奈良 6回 地域の魅力を探す 京都 7回 地域の魅力を探す 京都 8回 地域の特色を考える 町並み 9回 地域の特色を考える 商店街 10回 地域の特色を考える 年中行事 11回 地域の特色を考える 特産品 12回 レポートの報告 13回 レポートの報告 14回 レポートの報告 15回 まとめ(観光の魅力)
--

<b>授業形態(アクティブ・ラーニング)</b> ア:PBL(課題解決型学習) ウ:ディスカッション、ディベート オ:プレゼンテーション キ:その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態) エ:グループワーク カ:実習、フィールドワーク
---	--

<b>準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間</b> 予習 次回の授業範囲の準備学修として、シラバスの授業計画に記してある授業のテーマを確認し、そのテーマについて興味のある事柄を1つ調べてください。また、各回の授業の最後に、次回の授業のキーワードを紹介するので、翌週までにキーワードなどの言葉の意味について調べておいてください。(約2時間)。 復習 各自、その日の授業の内容を振り返り、授業の要点(キーワードやポイント)等を確認してください。また、その日の授業内容に関わる感想や考えを書いていただきます。
--

<b>卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連</b> 人間社会学部観光学科では、観光ビジネスのスキルを備え、高い人間力を有する学生を育てます。この科目では、演習のテーマにもとづいて、ディスカッション、グループワークなどの協働作業を行い、コミュニケーションの力を身につけます。また、文章の読解、情報の収集や整理、レポートの作成や発表などを通して、自分の考えを相手に伝える力を身につけます。
---

<b>双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述</b> 各回の授業の最初は、配布資料等を用いた講義の形式で進めます。その後、授業中は、できるかぎり、受講生の話し合いの時間を設けます。自らの後半は、その日の授業のテーマについて、レポートの作成を個別またはグループで行います。
---

<b>実務経験の有無及び活用</b> 実務経験あり。授業担当者は民俗学(生活文化史)に関わる現地調査や文化財保護業務の実務経験を有しており、その実務経験を活用し、日本の歴史や地域の特色を紹介しながら授業を行います。
--

<b>備考</b> <受講生へのメッセージ> 授業の進め方や評価方法の詳細などは、前期の第1回目の授業で説明します。「対面授業」と「オンデマンド授業」を並行して開講することになっています。 本来の専門基礎演習の目的として、各自で資料の読解や整理の方法を学ぶとともに、クラスの仲間とのグループワーク、個別の発表や仲間との質疑応答など、コミュニケーション能力を養うことができれば大変有り難く思っています。 この専門基礎演習は、観光学科の2年生をクラス分けし、「少人数」で実施します。
---